べ 物 記念物ト シ依テ同 ニシ テ 之 地 = シテ指定セラレ ラ植物が 暖 性 植 群落ヲ天然記念物ト 物 混生 タ 一群落 ラ生 成 シ セ テ指定サレンコトヲ望ム」トノ意見ニヨリ昭和二年四月八日遂ニ ラ V タ n 1 點 = 於 テ 植物生態學上 及 ۴, 分 布學 Ŀ 珍 稀 ナ n モ 1 ŀ 云 天 フ

〇陸中國九戸、膽澤、江刺郡邊ノ植物方言一 斑

今岩手縣陸

中九戶

郡

膽

澤

郡

並

江.

刺

郡

邊ノ植

物

方言中其意

味

7

面

岩 手 縣 佐

Þ

木

喜

假名遣ニ據ラズニ イモ ノ或 食用 タい發音 ŀ ナルモノ等若干ヲ玆 通 リニ記シ タ = 擧ゲテ見ル、 從 方言ハ正式 ッ テ 其言 ,

澤へ縣南 俗 1 相違 デ 伊達藩領 スル 所 亦少 九戸ハ縣北デ南部藩 ナ クナイ 水澤町 = ハ膽澤郡、 屬 ス ル

三風 ユスル 種 市 村 九九

ぎ~)松前即チ北海道カラ來タトノ意●ほれぐさ種市(かうぞりな)惚草ノ意、即チ葉ヲ取リ投ゲレバ着物ニ附 するこなかせハッ゚(あきのきりんさう)嫩葉ヲ食フ●さらげばなハッ゚(あづまぎく)皿ノ様ナ花ノ メ斯ク名ヅク●つけいも様市(さくいも)鹽漬又ハ糠漬トシテ食スル爲メ●まつまえいも水澤(さくいも)松前 此花ヲ採レバ母ガ井戸ニ投身スルトノ迷信ガアル)下ノ「アンチック」ノモノガ方言デ()内ノモノガ通名デア 意●あっぱがゐど ŋ

開

膽澤、 江刺郡邊ノ植物方言一斑

村 (あづまぎく)あっぱハ母ノ意. 北海道カラ來タトノ意 ル爲メ●ちゃんこぐさが澤(ときんさう)ちゃんこハ小サイ意●つなみぐさ様市(ひめむかしよもぎ)常村ニ ●てでっぽっぽが深(たんぽぽ)てでっぽっぽハ山鳩ノ鳴聲、此山鳩ノ鳴ク季節ニ 佐々木喜一君

(岩手縣九戶郡種市村 宿戶小學校長) 白 三屬

町 (えごのき)果皮汁デしゃぼん玉液ヲ造リ種子ハやまがらノ飼料デアル●ホ澤(えごのき)果皮汁デしゃぼん玉液ヲ造リ種子ハやまがらノ飼料デアル●

種毛ヲ針サシニ入ルヽト針ガ錆ナイト謂ハレル

●きんぱい水澤(れんげう)花ガ金杯ニ似タル故●

お 一めどち 村市(くりんさう)めどち

たえつつじ 町澤(さ

櫻草デ大櫻草ノ意●しちかいそー^{町澤}(くりんさう)花ハ輪生シ七階モ重ッテ咲ク草ノ意

斑

がほ)花ニロヲ當テヽこし~~ト言~バ小キ蟲ガ出ル(當地デハ實際ニ出ル)●ごまじろ樹がまじろホャ澤(がが疣収ノ藥トスル●あめふりばなっこホャ澤(ひるがほ)此花ヲ採レバ雨ガ降ルト云フ迷信カラ ●こしこし種市(ひ がほほづき)實ヲ食フ、「ミルクキャラメル」ノ味ニ似ル ●ちちばなこホボサ(うつぼぐさ)子供等一花ヅヽ抽キ取 意●びっち種市(とまとー)鹽漬ヲ食スル時最初ノ一口目ハびっちト音シテ果肉ヲモラス爲メ 種市村(がまずみ)實ヲ食ス●てっぽーだま村・(かんぼく)實ヲ豆 鐵砲ノ丸ニスル●まるこっぱ種市(おほばこ)圓水澤町(がまずみ)實ヲ食ス 粒ノ如キ故●こがねが澤(をみなへし)花色ョリ名ヅク●おぐみ叉うぐみが澤(うぐひすかぐら)實ヲ食フ●ぞー粒ノ如キ故●こがねが澤(をみなへし)花色ョリ名ヅク●おぐみ叉うぐみが澤(うぐひすかぐら)實ヲ食フ●ぞー うさう)折レバ白汁ヲ出ス爲メ●ぼんばな様^市(ききゃう)お盆ニ墓前ニ供ヘル花故云フ●ののば^{叭澤}(つりがね藥(蟲齒)、端午ニ屋根ニ挿ス●かぶくさ^{横市}(はちぢゃうな)葉ガ蕪ノ葉ニ似タル故 ●うるしぐさ^{水澤}(はちぢ食ノ●やまごぼー種^{市村}(やまぼくちカメ何レカデアラウ)葉ヲ草餅ニ入レル●ゆむぎ種^{市村}(よもぎ)草餅、1年中ノ意デ年中花ヲ着クルノ意 ●ばっかい水澤(ふきノタウ)食用●しどげ又しどぎ^{秋澤町}(もみぢがさ)嫩カキナ リテ花蜜ヲ吸フ卽チ乳花ノ意●やまぎり種市(くなぎ)葉ガ桐ノ葉ニ似ル イ葉ノ意●びっきのはホッド(おほばこ)びっきハ蛙デアル●にどいもホッド(じゃがいも)年二囘收穫ガ出來ルいも んじん)嫩き苗ヲ食フ 」ときしらず種市(ひなぎく)開花ノ季節ヲ知ラズ年中花ヲ出シ咲ク故名ヅク●いちねんぢゅー叭澤(ひなぎく)一 一十九 ははとト ハ云ハズ、 陸 浪後繁茂 葉ヲ草餅 セ トスル●ほれだま種市(をなもみ)惚玉ノ意、果實ガ着物 IJ ŀ テ此名 ガア うちちこが澤 、ははこぐさ)ははこヲちち - ねなしづる

が澤(ねなしかづら)民間 ニ附クョリ斯ク名ヅ (もみぢがさ)嫩カキ時 ح ۱۰ ●はっつぶ村市(い 云~ ŀ)花形 ち る 办 粟 K "

江刺郡邊ノ植物方言

七第誌雜究研物 まめ^{叭澤}(ゑんどう)一年二囘收穫出來ルトノ意●すがわり^{叭茲}(ゑんどう)すがハ氷ノ事、早春氷ヲ割ッテ發芽ス 果皮ノ一片ヅヽヲ取リテ幾ツモロノ下脣ヲ揷ミ其兩端ニテ脣肉ヲ壓シ遊ブ、くちどめハロヲ留メルノ意●にど のき種市(まさき)年中緑葉ノ木ノ意●いぬのくそまき種市(まゆみ)材少シ臭ィ、 をのき種市(うりはだかへで)樹皮青シ●こめのきが澤(みつばうつぎ) 蕾ガ米粒ノ如キ故云フ、嫩葉ヲ食フ●あを ぎ)果實ヲ食フ、ベごハ牛ヲ云フ●がにまなくハー፮(くまやなぎ)がにハ蟹デ其果實ガ其眼ニ似テ居ル故云フ●あ 即チ陸上ニ在ッテ蓮ノ葉ニ似タル葉ヲ有スルトノ意●ぶどは恥 (えびづる)ぶだう嶺ノ葉ニ似タリトノ意、草餅 町 (ひめうこぎ) 嫩葉ヲ食フ・おしゃらくばな又じょろーばな九声郡(おほまつよひぐさ)おしゃらくモ女郎モ水澤(ひめうこぎ) 嫩葉ヲ食フ・おしゃらくモ女郎モ のしゃうこ)葉形ガ猫ノ足ニ似タル故●くちどめセホホー(げんのしゃうこ)兒童ハ其果實ガ開裂シテU字形ニ曲レ ヲ (あきぐみ)實ヲ食フ、からハ唐ノ意カ●しゃごみ咻澤(なつぐみ)實ヲ食フ●をかはしば吡澤(のうぜんはれん)岡開花スル樣ヲ形容シ呼ンダモノ ●みそすりばな咻澤(みそはぎ)お盆ニ墓ヲ飾ル花 ●ぐみ種市からしゃごみ咻澤 つき)たゑ しらかばニ對シテ云フ●いどくさ種市(ゆきのした)井戸ノ邊ニ生ズル故●ふくろぐさ水澤(べんけいさう)葉ヲ揉 ック、實ハ食ス ●**こまぶどー又さなづら**村 (えびづる)こまぶどーハ小サキぶたうノ意、づらハつるノ意、果 意●まつまえいちご村 (おらんだいちご) 松前即テ北海道カラ來タいちごノ意●こめのき水澤(しじみばな)ソ まつぶどー村市(さんかくづる)果實ヲ食スル、其未熟ノモノ松ノ臭アリ故ニ云フ ●べどのちち種市(くまやな 、ハ食フ●ぶどー種市(やまぶどう)●どしぶどー又めくらぶどー村市(のぶだう)●せいよーぶどー種市(ぶだう) 花ヵラ名ヅク デアル、夕方咲キテ化粧スル爲メ云フナラン ●ぽっかり^{水澤}又ぱっかりそ ¶稲瀬村(おほまつよひぐさ)急速ニ ハ田 水ノ出ル木故火災ノ豫防トシテ棟木トスル事モアル ●やまが飛売村 植デ此頃暌ク故●おとこやま叭澤(なつはぜ)實ヲ食フ ●かばざくら又くろかば^{種市}(やまざくら) 櫻皮ヲかば下云ヒ種々ノ細工物ニ用ウ、くろかば あかき種 印材トスル● (やまばうし)實ヲ食フ ●おこ みづき)樹皮赤ク正 つねこあし が澤(げん 月

江刺郡邊ノ植物方言一麻

う)夏菜ノ意●まっこのすかっぱ叭澤(ぎしぎし)まっこハ馬、 はきぐさ村で(ははきぎ)はさハ箒ナリ 尖り居ル故云フ、けとぎハけいとうノ當地方言(ー町『(やまごばう)と1ハ唐ノ意、嫩葉ヲ食フ●やりこけとぎハッ澤(すぎもりげいとう)やりこハ槍デアル花穂ガリ小澤(やまごばう)と1ハ唐ノ意、嫩葉ヲ食ベル草ノ意●ひでりこハッ澤(まつばぼたん)乾燥ニ耐ユル意●と1ごぼびゆ)あけずハとんぼデアル、どんぼノ食ベル草ノ意●ひでりこハッ澤(まつばぼたん)乾燥ニ耐ユル意●と1ごぼ ぶし)當地ニテハ文章ニ現ハレタル櫻ヲ此こぶしト混同スルコト一般デアル●いとざくら叉たうちざくら青森縣 當地ニハ芍藥ノ語ナク芍薬モ牡丹ト云フ リ云フ のう)二年目ニ開花スル故●ねこのみみ種市(するせんのう)葉形ガ猫ノ耳ニ似テ居ル故●あけずぐさ叭澤(すべり (こぶし)いとハ大麻デアル麻ヲ蒔ク時、又田打チノ頃開花スル故云フ●にねんそー叉にねんぐさホホ澤(すゐせん フ●とりき種市(おほばくろもじ)樹皮ノ煎汁ハ雞ノ薬トナル故●しらがばばハサーー(おきなぐさ)其果實ノ樣子 ノ實ヲ當地ニテのみのふねト呼ブ蚤ノ舟ノ意デアル、 場處ニ生ズル故云フ●おんないしくさが澤(まるばまんねんぐさ)●きんちゃくばなが澤(けまんさう)花形ョ テ T 「まりばな吹^熟(おきなぐさ)成熟セル果毬ヲ集メテ毬ヲ造ルョリ云フ●やまぼたん種市(やましゃくやく) 風 如 クフ " ラ ~ セ n 爲 ●くさぼきが澤(ははきぎ)ぼさいぼうきデ箒ナリ ● おとこいしくさが澤(をのまんねんぐさ)いしくさい石草ノ意 おと一のき村(かつら)葉ヲ乾カシテ御香ヲ製スル ●とりのけっちゃか村 (けいとう)けっちゃかいとさか 秋ノ彼岸ニコノ實ヲトリ座敷ニ撒キ散ラシ後チ掃キ集 、こい意味ナシ、すかっぱい酸イ葉ノ意、 なつな

が澤(

ふだんさ さくら種市(こ 此ぎし 石 事 垣 IJ

●かって財響(あやめ、かきつばた、はなしゃうだりぬ(ま)、ハリケーのである。からのばた、はなしゃうだりなで、花柱ハ男ノ生殖器、おおはは水澤(ほくろ即チしゅんらん)爺々ト婆々トノ意、花柱ハ男ノ生殖器、 こちパ゚ヾごこ証刺(ねこやなぎ)いぬっこハ犬ノ子ノ意、こちこちハアヤシテャル時ノ聲、べごハ牛ノ兒ナリ● メラ川ニ流ス行事アリ斯クシテ室内ノ蚤ヲバ全部コノ舟ニ乘セテ流シ去 ながいも)一 年で肥大シ收穫ノ出來ルいもノ意 はなしゃうぶノ總稱)かって鳥ノ鳴ク頃開花スル故云フ●いちねん ●ばかいもハッギ(ながいも)大形ナレドモ粘氣少キ爲メ馬鹿い ルト 唇瓣ハ女ノ生殖器ニ似タル故云フ カ云フ いぬっと村でい ぬここち

稱スル、

意、食用ニスル・

(べにたけ)なんばん卽チたうがらしノ如ク赤イカラ云フ ●ぼれめき咻澤(ならたけ)菌柄ヲ折ルニボレー~音ガ食用トナル●すずめのわかい咻澤(せんぽんしめぢ)菌傘ハ雀ノ卵ニ似ラ居ルトラ此名ガアル●なんばきのこ咻澤

●ぼれめきが澤(ならたけ)菌柄ヲ折ルニボレー

●あづきもだち種市(せんぼんしめぢ) 菌傘ハ小ク多數デ 恰モ小豆ヲ散シタルガ 如キ故云フ、

スル爲メ名ヅケル、めきハめくデアル、食用菌●ならのきかっくえ種(ならたけ)群生スル茸ヲ總テかっくえ

伊勢國、

一志郡、

Щ **外居町、**

合村、

大字其村、

長圓寺境內

村 (てんぐさ)ところてんノコトラてぬト稱スル●すずめのあしがらみ村 (かもがしらのり)雀ノ足ニ引掛ルノ種市(てんぐさ)ところてんノコトラてぬト稱スル●すずめのあしがらみ種市(かもがしらのり)雀ノ足ニ引掛ルノ (くろぐわね)莖ヲ指ニテ壓セバビリー~ト音ヲ發スルカラノ名 ●ぼんめ叭澤(こんぶ)お盆ニ佛前ニ供へル故云 あまっこハ甘味ノ意デアル くゎんざう)葉柄ヲ内面カラ强ク吸ヘバび1ぴ1ト鳴ル ●あまっこ種で(しろばなえんれいさう)果實ヲ食フ、 ŀ 呼ブ ●ぼっちょわかめ村 (すぢめ)食用ニスル、ぼっちょハ凹凸アルノ意、一ニざるめト呼バレル●てぬくさ^{那月} ねこだま水澤 (じゃのひげ)ねこだまハ猫ノ目玉ノ意、 ●きつねのちょーちん種市(からはなさう)果實ノ形カラノ名 ●びりびりぐさ 紅刺郡 碧ク光ル實カラ名ヅク ぴーぴーぐさ種市

)伊勢ノ御葉つきいてふ

ソレユヱくりたけヲくりのきかっくえト呼ブ

矢 頭 獻

物研究雑誌六卷一號ニ「御葉つきいてふ」ニ就テ牧野先生ノ記事、 同二號ニ向坂先生ノ記事ガ 7 り マ シ

「御葉つきいてふ」ハ伊勢ニモ産シマスノデ參考 つきいてふ」ノ産地ハ次ノ三ヶ所デアリ 縣立農林學校内(私ノ母校デス) 7 デニ玆ニ御知セ スル次第デス、 伊勢デ現在知ラレテ居

.勢ノ侮葉つきいてふ